

豊橋プローブ第1回ワークショップ

—豊橋技術科学大学発の極微細電極による脳科学研究のフロントライン—

開催日：平成28年7月22日（金）14時より（1時間程度）
会場：第39回 日本神経科学大会 パシフィコ横浜 会議センター411室
※学会期間中に展示会場ブース No. C04 にて展示説明も行います。

【参加料】

無料 ※但し、誓約書（あるいは同意書）の提出が必要です

【参加人数】

ワークショップ体験及び電極サンプル配布：10機関程度
ワークショップ見学のみ参加：50名程度
（定員に達し次第、申し込みを締め切ります）

【申込方法】

下記 web サイトから申込書一式をダウンロードし、メール提出

【申込先】

豊橋プローブプロジェクト事務局（担当：鯉田、河野）
<http://www.eiris.tut.ac.jp/probe/>

超微細のニューロン記録電極「Toyohashi probe」について使用法をレクチャーします。

刺入型電極を用いたニューロン活動の電気的計測法は、今日でも重要な脳計測手法として位置付けられています。豊橋プローブは豊橋技術科学大学のシリコン微細加工技術を応用して開発した新しい電極で、従来の金属電極の20~30分の1、直径わずか5 μmの細さを誇ります。刺入の際の抵抗が少なく脳組織へのストレスを最小限に抑えることで、安定なニューロン活動信号が得られるのが特徴です。本レクチャーでは、げっ歯類の大脳皮質ニューロン計測を例にとって実演し、豊橋プローブ本来の性能を得るためのポイントをレクチャーいたします。興味のある方はふるってご参加下さい！

内容

1. はじめに／事務連絡（5分）
本ワークショップの目的／アンケートのお願い
お渡しするサンプルの取り扱いに関して
2. 豊橋プローブに関する説明（5分）
豊橋プローブの紹介／技術情報など
3. レクチャー（30分）
豊橋プローブの取り扱い・注意事項の説明／電極の選定
模型を用いた操作・計測方法の説明
※ダミーサンプルを用いて実際に操作していただきます
4. フリーディスカッション（10分）
全体を通しての質疑・要望など
5. 個別相談
共同研究や追加サンプル供給など、個別に対応致します

